

# 2018年度 決算説明会

代表取締役社長 志藤 健

YOROZU

株式会社 ヨロズ

東京証券取引所市場第1部 (証券コード：7294)

## 目次

- I. 2018年度業績
- II. 2019年度予想
- III. 最近の状況
- IV. 株主還元

I. 2018年度業績

II. 2019年度予想

III. 最近の状況

IV. 株主還元

2018年度連結決算概要 (前期比)

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前期比	2018年度 3Q時予想 ※2	3Q時予想比
売上高	171,536	169,111	△1.4%	169,000	+0.1%
営業利益	6,029	5,290	△12.3%	5,600	△5.5%
経常利益	5,648	5,222	△7.5%	5,400	△3.3%
当期純利益 ※1	2,717	402	△85.2%	2,800	△85.6%

	2017年度 A	2018年度 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	114円31銭	16円94銭	△97円37銭	△85.2%
連結取り込みレート	112円16銭/\$	110円44銭/\$	△1円72銭/\$	△1.5%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2019年2月8日開示予想値

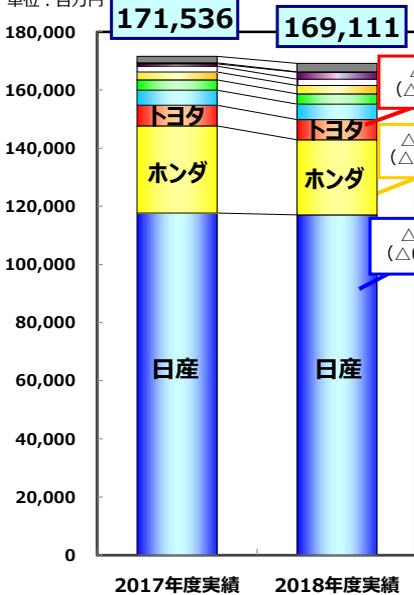
売上高 : 中国好調も日本・米国の主要得意先の減産により減収  
 営業利益 : テネシー大幅改善も日本・米国の生産減少・メキシコの償却費増などにより減益  
 経常利益 : アラバマ開業準備費用の減少・為替差損益の改善により減益幅縮小  
 当期純利益 : インド主要得意先の大幅減産に伴う固定資産減損計上により減益

## 連結得意先別売上高 (17年実績 対 18年実績)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	2017年度	(%)	2018年度	(%)
日産 Gr ※	117,638	68.6%	116,994	69.2%
ホンダ Gr	29,968	17.5%	25,828	15.3%
トヨタ Gr	7,106	4.1%	6,950	4.1%
いすゞ	5,188	3.0%	5,322	3.1%
マツダ	3,532	2.1%	3,524	2.1%
スズキ	2,702	1.6%	2,892	1.7%
クボタ	2,028	1.2%	2,163	1.3%
VW	785	0.5%	2,400	1.4%
GM Gr	342	0.2%	119	0.0%
その他	2,247	1.3%	2,919	1.8%
合計	171,536	100.0%	169,111	100.0%

※ ルノー向け売上含む

主にホンダ向け減少により売上減

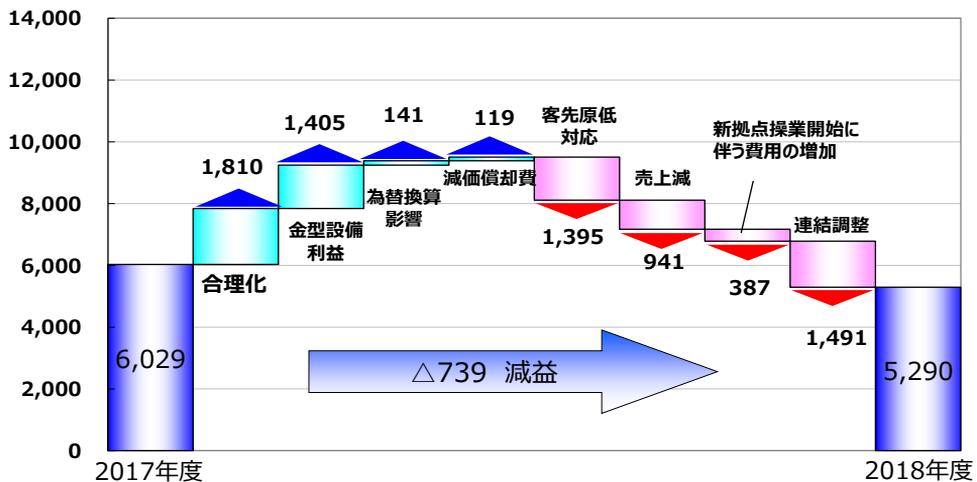
© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

5

## 連結営業利益の増減要因分析 (17年実績 対 18年実績)

YOROZU

単位：百万円



テネシーの改善含む合理化や金型利益などの増益要因がある中、部品売上減少やアラバマ新拠点立ち上げ費用などにより減益

© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

6

## 地域別(連結調整前)売上高・営業利益(17年実績 対 18年実績) YOROZU



日本：部品・金型売上減少などにより減収/金型損益の改善により増益  
 米州：米国のセダン・小型車系生産減少などにより減収  
 アラバマ立上げとメキシコ償却費増あるも、テネシーは大幅な改善により、ほぼ横ばいの営業損失  
 アジア：中国SUV好調により増収/中国の増加に加え、タイでの改善により増益

7

## 連結貸借対照表の概要 2019年3月期 YOROZU

単位：百万円

	2018年3月末 A	2019年3月末 B	増減 B-A
流動資産	69,590	67,422	△2,168
固定資産	105,493	100,675	△4,818
資産合計	175,083	168,097	△6,986
流動負債	45,632	40,273	△5,359
固定負債	32,435	35,513	+3,078
負債合計	78,068	75,787	△2,281
株主資本	82,845	81,888	△957
その他の包括利益累計額	△2,992	△6,235	△3,243
非支配株主持分他	17,162	16,657	△505
純資産合計	97,015	92,310	△4,705
負債・純資産合計	175,083	168,097	△6,986

現預金	+4,087
受取手形及び売掛金	△2,445
棚卸資産	△2,331
その他の流動資産	△1,708
<b>有形固定資産</b>	<b>△4,213</b>
投資有価証券	△1,747
繰延税金資産	+1,267
支払手形及び買掛金	△4,864
短期借入金	△2,251
1年内返済予定の	
長期借入金	+762
未払法人税等	+986
長期借入金	+1,146
リース債務	+2,158
当期純利益	+402
配当支払	△1,354
その他の有価証券	
評価差額金	△1,213
為替換算調整勘定	△2,156

円高に伴う為替換算影響に加え、インドでの減損処理により、有形固定資産は大きく減少

## I. 2018年度業績

## II. 2019年度予想

## III. 最近の状況

## IV. 株主還元

## 2019年度連結業績予想の概要

## ◆ 損益の状況（前期比）

単位：百万円

	2018年度 実績 A	売上高 比率	2019年度 予想 B	売上高 比率	増減額 B-A	増減率
売上高	169,111	100.0%	165,000	100.0%	△4,111	△2.4%
営業利益	5,290	3.1%	3,500	2.1%	△1,790	△33.8%
経常利益	5,222	3.1%	2,950	1.8%	△2,272	△43.5%
当期純利益※1	402	0.2%	1,650	1.0%	+1,248	+309.7%

	2018年度実績 A	2019年度予想 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	16円94銭	69円42銭	+52円48銭	+309.7%
連結取り込みレート	110円44銭/\$	108円00銭/\$	△2円44銭/\$	△2.2%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

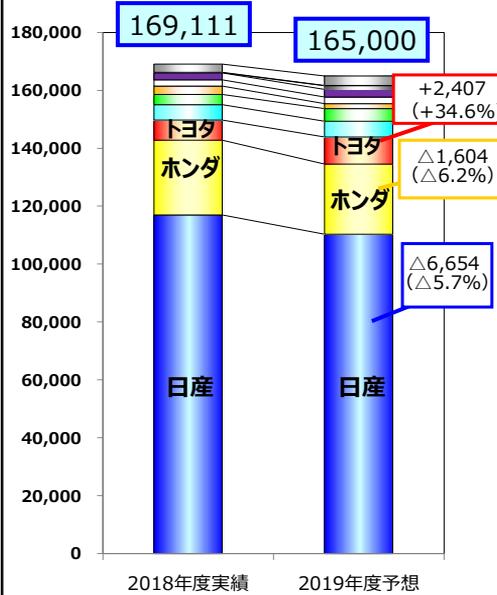
売上高：米国に加え、中国での主要得意先の減少により減収の見込み  
 営業利益：米国は減産の中、改善進むも、中国の減産影響などにより減益の見込み

## 連結得意先別売上高 (18年実績 対 19年予想)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	18年度実績	(%)	19年度予想	(%)
日産 Gr ※	116,994	69.2%	110,340	66.9%
ホンダ Gr	25,828	15.3%	24,224	14.7%
トヨタ Gr	6,950	4.1%	9,357	5.7%
いすゞ	5,322	3.1%	5,437	3.3%
マツダ	3,524	2.1%	4,369	2.6%
スズキ	2,892	1.7%	1,714	1.0%
クボタ	2,163	1.3%	2,296	1.4%
VW	2,400	1.4%	2,629	1.6%
Daimler	76	0.0%	1,260	0.8%
GM Gr	119	0.1%	97	0.1%
その他	2,843	1.7%	3,277	2.0%
合計	169,111	100.0%	165,000	100.0%

※ ルノー向け売上含む

減収の中でも、トヨタGr・ダイムラー向け売上は増加

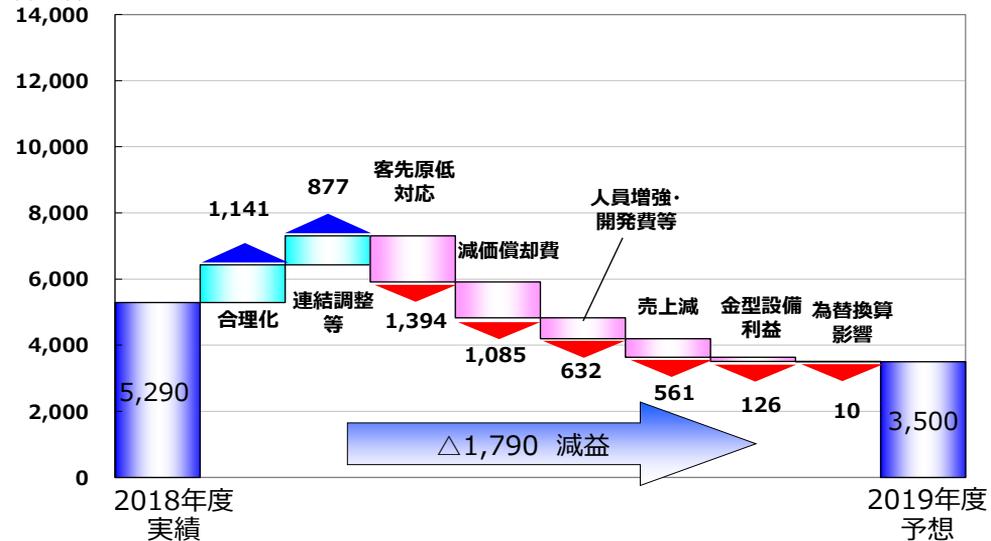
© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

11

## 連結営業利益の増減要因分析 (18年実績 対 19年予想)

YOROZU

単位：百万円



将来に備えた費用増加（償却費・人件費・開発費等）や主要得意先売上の減少により、現時点では減益の見込み

© YOROZU CORPORATION

12

## 地域別(連結調整前)売上高・営業利益(18年実績 対 19年予想) YOROZU

### ◆売上高

単位：百万円  
100,000



### ◆営業利益

単位：百万円



日本：本社費用（人件費・償却費・経費）や大分の増強に伴う固定費増加により減益の見込み  
 米州：売上減少も米国の改善により損失額は大きく縮小の見込み  
 アジア：中国主要得意先売上の大幅減少により減収/減益の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

13

## 設備投資と減価償却費

YOROZU

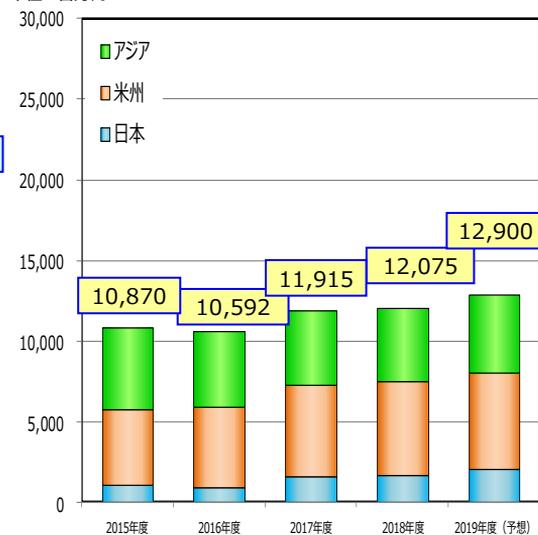
単位：百万円

### 設備投資



単位：百万円

### 減価償却費



© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

14

I. 2018年度業績

II. 2019年度予想

III. 最近の状況

IV. 株主還元

## 重点取り組み

### (1) 収益力の強化

- ・フリーキャッシュフロー経営の強化
- ・プロジェクト収益管理の強化
- ・ものづくりの革新

### (2) 製品力・開発力の向上

- ・サスペンション部品の競争力向上
- ・固有技術を生かした新製品への取り組み
- ・3つの軸(顧客・製品・地域)での積極的な拡販

### (3) 企業力の充実

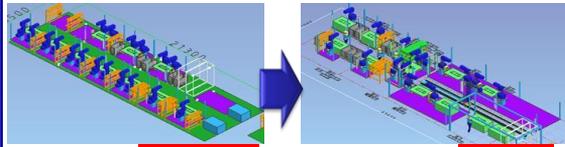
- ・人財育成
- ・組織見直し
- ・ESG経営

## 徹底したサイマル活動の実施

構成部品削減、部品一体化 etc.

アーキテクトによる歩留り向上

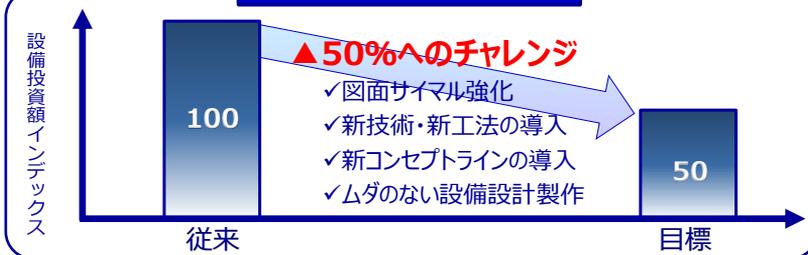
## 組立ライン工程削減イメージ



Before 15工程

After 9工程

## 設備投資額の削減



ヨロズ大分

YOROZU Oita

Japan

## 最新自動化ラインのコンセプト

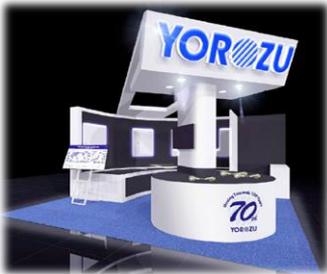


- ✓ 需要変動に強いフレキシブルなライン
- ✓ 試作段階での治具を量産でも使用可能
- ✓ 汎用性が高く、さらなる設備投資削減を実現



## 「オートモーティブワールド2019」への出展

YOROZU



1月16～18日の3日間の開催で600人以上の来場者

© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

21

## 製品力・開発力の更なる強化

YOROZU



2月26・27日に実施  
670名の方が参加



**RADIUS ROD**  
同一金型で長さを可変



**UPPER LINK**  
バーリングによるB/J取り付け  
部品省略

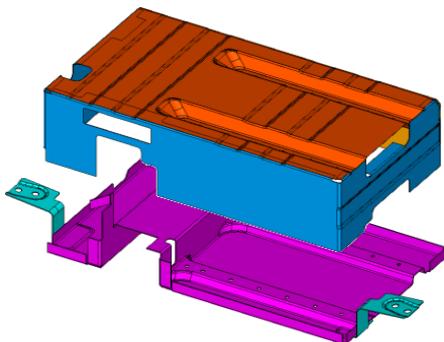


**LINK**  
一枚板からカールしたリンク

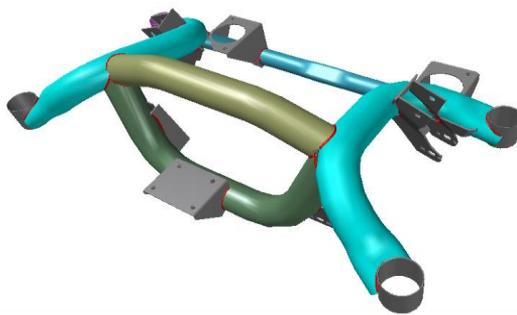
トヨタ本社への出展

© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

22



バッテリーケース  
部品点数21⇒7  
17%軽量化



EV用リアメンバー  
高強度高剛性5%up  
32%溶接長削減

旧型アルティマ

【SOP】

US : 2012年6月

新型アルティマ

【SOP】

US : 2018年 8月

北米向けアルティマ Front SUSPENSION MEMBER

項目	旧型		新型	
主な材質	540MPa級		540MPa級	
主な板厚	1.8mm		1.6mm	
主な部品数	29点		17点	
重量	32.1kg		25.6kg ✓ ▲20.2%	

北米仕様では構造簡素化/薄板化の提案により、大幅な軽量化の実現

## お客様よりいただいた品質賞（2018年度）

YOR//ZU



北米日産よりリージョナル  
品質賞ファイナリスト(メキシコ)



トヨタ自動車東日本より  
品質感謝状(日本)



ホンダブラジルより  
品質・納入優秀賞  
(ブラジル)



メキシコ日産より品質賞  
(メキシコ)



タイ日産より リージョナル  
品質賞ファイナリスト(タイ)



日野U.S.A. より  
品質優秀賞(アメリカ)



いすゞ自動車より  
品質達成賞(日本)

© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

25

## お客様からの受注車種

YOR//ZU

### 米州

#### 日産 アルティマ

FR SUSP MEMBER  
RR SUSP MEMBER  
RR SUSP LWR LINK RR  
RR SUSP LWR LINK FR  
BRAKE PEDAL

#### ダイムラー Aクラスセダン

RR CRADLE

#### ダイムラー GLE

RR CAMBER ARM RH/LH

### アジア

#### ダイムラー Aクラスセダン

RR CRADLE

### 日本

#### 日産 デイズ 三菱 eKワゴン

FR SUSP MEMBER

RR SUSP BEAM

© YOROZU CORPORATION. 2019 All Rights Reserved.

26

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」企業認定

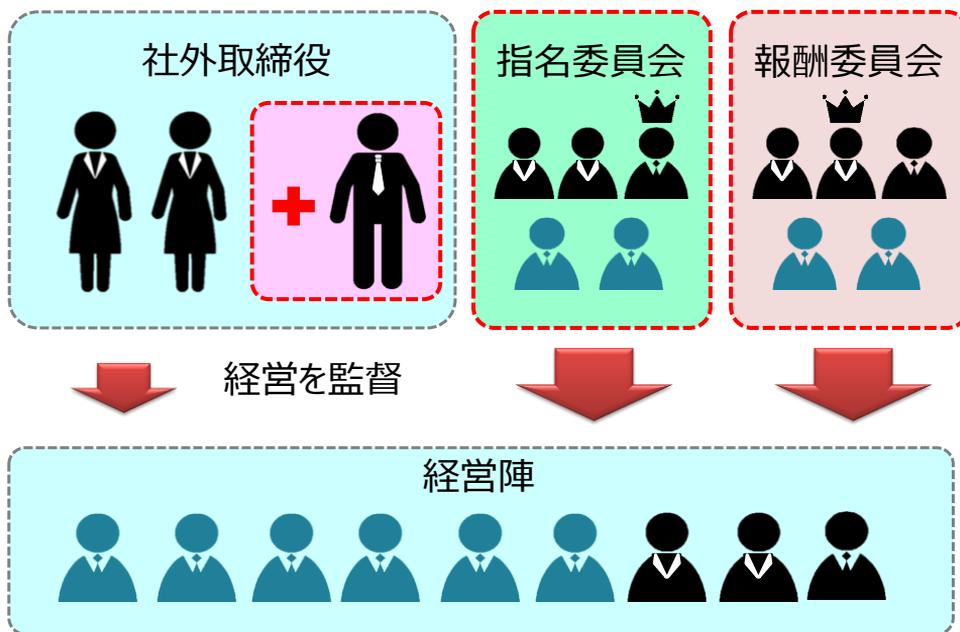
2018年12月3日

ヨロズは最高段階の「えるぼし」認定を取得しました。

認定通知書



認定企業マーク「えるぼし」



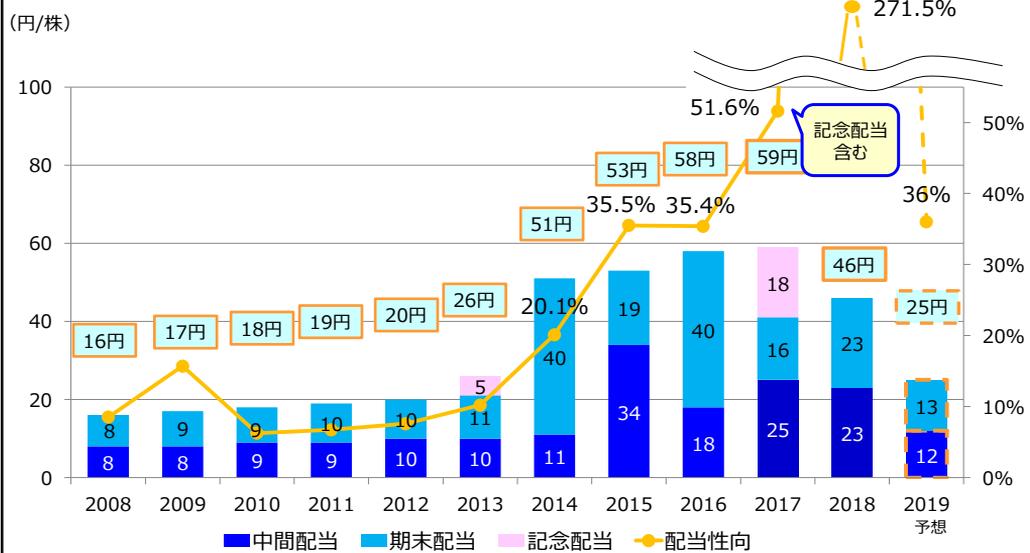
I. 2018年度業績

II. 2019年度予想

III. 最近の状況

IV. 株主還元

## 財務戦略：株主還元策の拡充



目標配当性向は2019年度以降も35%

2018年度 YOROZU 決算説明会  
ご清聴ありがとうございました

ヨロズ ホームページアドレス

<http://www.yorozu-corp.co.jp>

## 免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 取締役副社長執行役員 財務部長 佐草 彰  
担当：(株)ヨロズ 財務部 経理グループ 主担 高橋 剛健

T E L 045-543-6802 F A X 045-543-4915